



空間コレクション

アイデアをカタチにする

建築の記憶を環境の創造につなぐ

建築博物教室 第13回 公開ギャラリーセミナー

空間のアーキテクチャ

松本 文夫(東京大学総合研究博物館 特任教授/建築学)

日時：2017年6月3日(土) 13:30~15:00

会場：東京大学総合研究博物館小石川分館2階「空間標本」展示室

入場：無料(事前申込不要)

※当日12:30より、寺田鮎美特任准教授によるギャラリートーク「工学主義一田中林太郎・不二・儀一の仕事」を開催します。

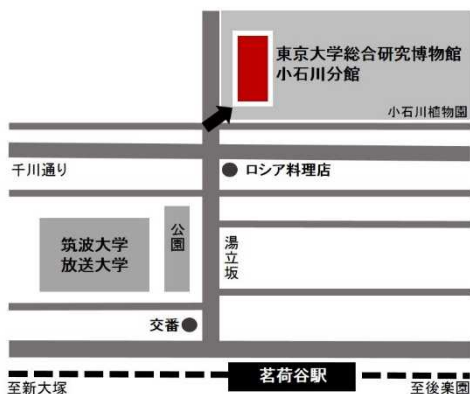
空間のアーキテクチャ

松本文夫



(左上)サン・マルタン・デュ・カニグー修道院(フランス)、(右上)建築模型(a.スナイダーマン邸、b.増沢洵自邸、c.アルテス・ムゼウム、d.ハギア・ソフィア)、(下左)琉球 ALIVE、(下右)ヤオトン(中国)

建築 (architecture) は、建物 (building) や建設 (construction) の意に解されることが多いですが、元来それは構成原理や設計思想といった非物象的な意味を含んでいます。概念と空間を連関させることは建築の中心的な課題の一つです。時間軸で考えればそれは一時の対処ではなく、過去の記憶を未来の創造に結びつけることにつながります。世界の縮図ともいえる博物館には膨大な事物と情報が蓄積されており、そこは同時に「建築」の記憶の宝庫でもあります。過去から現在に至る建築の事例からさまざまなアイデアを抽出しつつ、まだ見ぬ未来の環境のカタチを一緒に考えてみましょう。



東京大学総合研究博物館小石川分館

〒112-0001 東京都文京区白山 3-7-1
Tel. 03-5777-8600(ハローダイヤル)

開館時間: 10:00-16:30 (入館 16:00 まで)

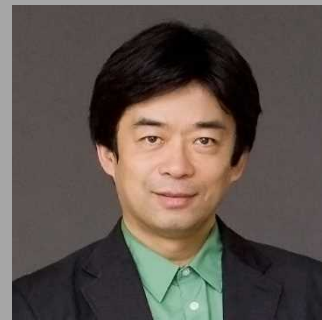
入館料: 無料

休館日: 月・火・水曜日

(いずれも祝日の場合は開館)、年末年始、
その他博物館が定める日

アクセス: 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩 8 分

<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/architectonica/index.html>



松本 文夫 (まつもと ふみお)

略歴

1986 年 早稲田大学大学院理工学
研究科修士課程修了
1986-96 年 磯崎新アトリエ勤務
1997 年 プランネット・アーキテクチャ
ーズ設立
2005 年 東京大学総合研究博物館客員
助教 現在、特任教授

著作等

『MODELS——建築模型の博物都市』
(東京大学出版会、2010 年、編著)
『設計する身体をそだてる——考えを伝
える図面の技術』(彰国社、2013 年、共
編著)
『思考の模型』(東京大学出版会『UP』
連載、2012 年 1 月-2015 年 12 月)

プロジェクト

<総合研究博物館> モバイルミュージ
アム(2006 年-)、東京大学懐徳門(2007
年)、UMUT オープンラボ——建築模型
の博物都市(2008-2009 年)、
IMAGINARIA(2011 年)、真壁伝承館・歴
史資料館(2011 年)、大槌文化ハウス
(2013 年-)、建築博物誌/アーキテク
ニカ(2013 年-)、インターメディアテク
(2013 年-)、IMAGINARIA2(2017 年)

<その他> Network Cities(国際コン
ペ・21 世紀京都の未来/入選)、GINGA
(アルス・エレクトロニカ/入選、グラ
ーツ・メディア建築ビエンナーレ/オース
トリア建築家賞)、INFOTUBE(日経アー
キテクチャ・デジタルデザインコンペ/
最優秀賞)、青森県立美術館(設計競技
/入選)、琉球 ALIVE(アジア・デジタル
アート大賞 2003/優秀賞)、Musescape
(ロサンゼルス・ムービー・アワード 2012
/短編ドキュメンタリー部門入選)

建築博物教室とは?

「アーキテクチャ」をテーマにさまざまな分野の
研究者が講演を行い、関連した標本を「アーキ
テクトニカ・コレクション」として展示していくシ
ーズイベントです。

建築ミュージアム / アーキテクトニカ

KOISHIKAWA Annex.

UMUT

東京大学総合研究博物館小石川分館